

2009 年アジア太平洋ソーシャルワーク大会

於:ニュージーランド(オークランド)

- ◇2009年11月オークランドで開催されたアジア太平洋大会にて、多数の意見が出されました。
- ◇期間中に開かれた APASWE 総会において、新会長として秋元樹教授（日本女子大学）が選出されました。
- ◇2011年の APASWE ソーシャルワーク大会の開催地に、日本が立候補しました。

<大会報告>

1. 大会のテーマ

“Many voices, Many communities, Social justice for all”

より多くの地域からより多くの声を上げよう、すべての人々の平等のために

2. 大会のサブテーマ

人口移動-災害復興・難民・移民・人身取引/原住民/ソーシャルワーク教育、研究、実践/社会正義と青少年司法/社会的排除と包摂・コミュニティのエンパワメント・コミュニティ開発

3. 開催日時：2009年11月10日（火）～13日（木）

4. 開催場所：スカイシティ オークランド コンベンションセンター

5. 参加国・地域(参加人数)

ハワイ（約5名）、フィジー（1名）、インド（約5名）、マレーシア（約7名）
フィリピン（約10名）、シンガポール（約10名）、韓国（約7名）、スリランカ（1名）
タイ（約5名）、英国（約12名）、米国（約3名）、ニュージーランド（約70名）
オーストラリア（約30名）、台湾（5名）、香港（約8名）、日本（約30名）ほか。
参加人数は約300名。

*大会で実施された講演及び発表は、すべて本大会ホームページ（www.swinnz2009.co.nz/）において入手することができます。また、IASSW ホームページでも、大会の概要を日本語でお伝えしています。

（http://www.iassw-aiets.org/index.php?option=com_content&task=blogcategory&id=22&Itemid=31）

6. 全報告数

- ・分科会（124）うち日本の参加者の報告（4）
- ・ポスターセッション（16）うち日本の参加者の報告（2）

7. 講演

- ・基調講演：『グローバルな変化：地域ソーシャルワークに影響を与える議題』
Mason Durie 博士（精神科医）
- ・本講演：『グローバル化した世界のソーシャルワーク教育及び実践の課題』
Angelina Yuen 教授（IASSW 会長）・David N Jones 博士（IFSW 会長）

8. 2010年 IASSW 香港大会にむけて

参加者の国・地域で直面している最も大きな課題、ソーシャルワーク教育及び実践において挙げられる課題、香港大会の議題として取り上げるべき課題について、Yuen 会長が各国・地域で共通している事柄について共有することを呼びかけました。

*現在、IASSW のホームページ http://www.iassw-aiets.org/conference_guestbook.php において、日本からも書き込みができるようになっていきます（使用言語は英語です。日本語にてご要望等がある場合には、JASSW 事務局 grenmei@jassw.jp までご連絡ください）。

9. 閉会式

新 APASWE 会長として、秋元樹教授（日本女子大学）が挨拶の辞を述べました。アジア・パシフィックにおいては、歴史的な事実から日本は難しい立場にあるので、会長に就任することに戸惑いはあったとも述べ、各国・地域の協力を求めました。

<APASWE 役員選挙>

1. 選挙結果

会 長 :	秋元樹(日本・日本女子大)
副会長 :	カロリン・ノーベル(オーストラリア・ヴィクトリア大)
会 計 :	マーク・ヘンリックソン(ニュージーランド・マセイ大)
書記長 :	立候補無し*
理 事 :	デチャ・サングカワン(タイ・タマサート大)
	イン・ヤン・ハン (韓国・梨花女子大)
	ヤン・ブン・リー (韓国・コンクック大)
	ジュード・アーウィン (オーストラリア・シドニー大)

*書記長については今後数週間の内にどのように扱うかを理事会において検討する。

<総会報告>

1. 出席者

会長、副会長、会計、一般理事 3 名が出席。一般出席者は30名ほど、3分の1は日本。

2. 次期（2011年）大会開催地

日本とインドが立候補の意思を表明。IFSWサイドでは日本とフィリピンが現在のところ開催の意思を表明。

- ・ APASWE と IFSW（アジア太平洋地域）の合同開催を原則とする。
- ・ IFSW は 11 月末を立候補の締め切りとし、12 月 15 日を組織決定の締め切りとする。APASWE もこれに準ずる。